

2020年度 武蔵野音楽大学研修員募集要項

本学では、卒業生、修了生の再研修を支援し、その演奏活動を推進することを目的として、オーケストラや室内楽等の器楽アンサンブル、及び混声合唱・室内合唱やヴォーカルアンサンブル、指揮等の授業並びにコンサートの際の演奏補助要員、また、器楽・声楽の伴奏者として「研修員」を募集します。

採用は面接及び実技審査により決定します。応募にあたっては下記事項を確認してください。

■募集対象

【声 楽】 男声（テノール、バス）、女声（ソプラノ、アルト） ※声種は合唱のパートを表しています。

【弦楽器】 ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

※ヴァイオリン奏者には、可能であればヴィオラ担当を依頼する場合があります。

【ピアノ】 各種伴奏（指揮、器楽、オペラ、混声合唱、室内合唱、女声合唱 他）

■応募資格

□武蔵野音楽大学の卒業生または同大学大学院修了生（いずれも見込みを含む）であること。（2020年度別科在学学生及び本学園教職員は除く）

□2020年3月31日現在で22歳から35歳までの者。

□演奏会・授業等に参加するに相応しい演奏能力を備えていること。

□大学より指定された演奏会等、及びその練習に出席できること。

□2020年3月31日で委嘱期間が終了する研修員が、更に継続を希望する場合は、再度審査を受けることができます。なお、採用された場合は、2022年度研修員に応募することはできません。

■委嘱期間

□採用から2年間（2020年4月1日から2022年3月31日まで）

■手当

□授業・練習参加、演奏会出演について、研修員として所定の報酬が支払われます。

■その他

□練習室、図書館（AVエリアを含む）、楽器ミュージアム等の学内施設を、各管理規定の範囲で利用できます。

■申し込み

【受付期間】 2020年1月20日（月）～2月10日（月）

□受験希望者は演奏部窓口で配付の応募用紙（本学ウェブサイトよりダウンロードも可）に必要事項を記入の上、上記期間内に演奏部窓口へ提出してください。（郵送可、但し2月10日必着までとする。）

■面接・実技試験について

【実技試験】 2020年2月20日（木） 声楽=13:00開始 / 弦楽器・ピアノ=13:30開始

【面接】 2020年2月20日（木） 14:00開始 ※実技試験終了者より順次実施〔応募に際しての意欲等を確認します。〕

【実技課題】

〔声 楽〕 ■オペラ・合唱両方に対応可能な者

①任意の歌曲 ②レチタティーヴォ・セッコ ③任意のアリア（いずれも暗譜、合わせて10分程度の曲を選ぶこと）

※上記①～③の順で各1曲ずつ演奏すること。（演奏時間が長い場合は途中で止める場合があります）

※レチタティーヴォ・セッコはモーツァルト作曲のオペラ、「フィガロの結婚」、「ドン・ジョヴァンニ」、「コジ・ファン・トゥッテ」の中より選び、演技をつけてセッコの部分のみを演奏すること。演奏時間は1～2分程度とする。

※レチタティーヴォ・セッコで他のキャストとの絡みがある場合、省略するか演技のみ続けるかは自由とする。

■合唱のみに対応可能な者

上記課題の①と③を①③の順で各1曲ずつ演奏すること。（演奏時間が長い場合は途中で止める場合があります）

〔弦楽器〕 任意の10分程度の独奏曲（暗譜）

〔ピアノ〕 ①初見視奏 当日提示された歌曲あるいは合唱曲を、伴奏と歌唱部分を同時に（必要であればアレンジしつつ）ピアノで演奏すること。

②伴奏試験 A（器楽）L.v.Beethoven: Sonate für Klavier und Violine, F-dur, op.24 第1楽章 Allegro

B（声楽）山田耕筰：鐘が鳴ります（原調）

C（声楽）J.S.Bach: 《マタイ受難曲》より"Erbarme dich（憐れみ給え、わが神よ）"

※独奏、独唱者は大学で用意します。

※事前のリハーサルはありません。

※A、B、Cとも、演奏箇所は当日指定します。

※実技審査受験時に、伴奏者及び譜めくりが必要な場合は、受験者各自で同伴してください。伴奏者、譜めくりの資格は問いません。

※面接及び実技審査の集合場所、受験順序、会場については、前日までにS棟演奏課掲示板に掲示します。

■結果発表

□採否については2020年2月25日（火）に各人へ総務課より発送します。

■申込書送付先・問い合わせ

武蔵野音楽大学演奏部 〒176-8521 東京都練馬区羽沢 1-13-1 電話 03-3992-1120 ファクシミリ 03-5999-1595

Eメール nihei.t@musashino-music.ac.jp